

平成30年度 学校評価取りまとめ表 千葉県立幕張総合高等学校

	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評 価基準)	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏ま えた課題・改善の方向)	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に 向けた改善方策)
学校経営	<p>1 信頼される学校づくりのため本校の教育活動を積極的に発信する。</p> <p>2 安心・安全な学校生活を指導し、学校事故防止を実践する。</p> <p>3 働き方改革の意識の向上とコンプライアンスを徹底する。</p>	<p>① 本校の教育活動の積極的な発信のため、ホームページの掲載内容を随時更新する。最新の情報を提供し、日常の安全指導をおこなう。対応をとりよ関係する。労働時間の適正化を徹底し、根拠を充てる。</p> <p>② 安全と確かな管理能力を育成する。人権の侵害の防止のため、研修を実施する。</p> <p>③ 労働時間の適正化を徹底し、根拠を充てる。</p>	<p>① ホームページの掲載内容及回数</p> <p>② 防災に関するウェブサイトの再見直しと、生徒の職員研修状況と、出勤記録</p> <p>③ 職員研修会の実施内容及回数</p>	<p>① ホームページの更新は年間約100回であった。昨年度は50回であり2倍に増えた。開かれた学校づくり委員会の運営が実施し、看護教育への理解を深めた。前期選抜の選考・評価方法は、より分かりやすい表現でホームページに掲載するとともに、説明会の開催した。中学校訪問で以上の志望者数を取得できた。保護者対象のアンケートは校内メール配信システムで呼びかけ、回答率は昨年度並の80%であった。組織的な生徒面談は公的に1回と必要に応じて随時実施した。年度初めに防災に関するマニュアルと学校安全点検と学月の更新を行い、全職員による毎月の体育施設点検と学月の毎月の施設点検により施設の修繕等をその都度段階的に進めることができた。職員の防災教育に関する肯定的評価も昨年度の80%から83%に微増した。教職のためのストレスマネジメント研修会を開催した。</p> <p>② 職員研修会はモラルアップ研修会・特別支援研修会等、年間10回以上開催した。出勤記録による労働時間の適正化を日々の声かけ等で指導した。</p>	<p>① 今年度ホームページに掲載した「校長通信」を継続していく。ミニ集会は、来年度の総合学科校舎での開催に向けて呼びかけに努める。</p> <p>② 防災に関するマニユアルの見直しは毎年行い、安全点検の修繕を引き続き進める。不祥事防止やストレスマネジメントを年間計画に位置付けて意識改革を推進する。</p> <p>③ 不祥事防止やストレスマネジメントを年間計画に位置付けて意識改革を推進する。</p>	<p>① 校長通信再開回数が増加している。ホームページのアンケート項目はどうか。前期選抜方法は分かりやすい。</p> <p>② エアコン等の設置、修繕をすすめて欲しい。働き方改革への対応の確保については、絞って欲しい。</p> <p>③ 働き方改革への対応の確保については、絞って欲しい。</p>	<p>① ホームページの導入を検討する。前の法でもや価を上げていく。老朽化の引き進める。修繕の引き進める。修繕の引き進める。修繕の引き進める。</p> <p>② 老朽化の引き進める。修繕の引き進める。修繕の引き進める。</p> <p>③ 職員の実働日頃、職員の声掛け、革進行し、革進行する。</p>



	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評 価基準)	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏ま えた課題・改善の方向)	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ(課題と次年度に向けた改善方策)
生徒指導	<p>1 基本的な生活習慣の徹底と豊かな心の育成を図る。</p> <p>2 いじめ対策に向けた教育相談や未然防止のための指導体制を確立する。</p>	<p>① 定期的な服装指導や日常的な挨拶の励行を推進するとともに、道徳教育の充実を図る。</p> <p>② スクールカウンセラーや教育相談活動を進めるとともに、特別な配慮を必要とする生徒に随時対応する。</p>	<p>① アンケート結果と年間計画に基づいた道徳教育と、校内研修会や生徒理解のための工夫・取組の実施状況</p> <p>② 学校いじめ防止対策基本方針に基づく取組の実施状況</p>	<p>① 生徒の「幕総生は、学校の規則を守り、あいさつが良くできている」に対する肯定的評価は昨年度の85%から78%と下がっており、保護者の「本校は、保護者と適切に連携をとりながら、生徒指導を行っている」に対する肯定的評価は、昨年度並の64%であるが、特に「達成できている」の評価は13%と微増している。道徳教育は、年間計画に基づいて着実に推進しており、「命の授業」を看護科3年生が普通科1年生に講師として実践するなど本校独自の企画を続けている。</p> <p>② hyper-QU研修会等、教育相談や特別支援関係の職員研修会を2回、生徒向け研修会を2回実施した。</p> <p>また生徒向けに、コミュニケーションウィーク1回、学校生活アンケートを年2回、いじめアンケートを3回、セクハラ体罰アンケートを年1回実施した。</p> <p>生徒の「幕総はいじめ防止に努めるとともに、悩みを相談できる先生がいる」に対する肯定的評価は昨年度と変わらず80%であり、同様の質問に対する保護者の肯定的評価は昨年度から微減の83%、教職員の肯定的評価は昨年度から微増の97%であった。</p>	<p>① 生徒指導に関する情報を職員間で共有し、全校での指導を徹底する。道徳教育や安全教室については、継続する。</p> <p>② 教員対象の校内研修会、教育相談活動を発展させ、ニーズにあった内容となるよう適切に運営する。通級指導をさらに充実させ、個別の支援を教師間で情報共有して組織的に対応する。</p>	<p>① スマホの授業中の使い方が悪化しているのか。試験の際の指導は徹底できているか。</p> <p>② スクールカウンセラーや特別支援の教員は存在しているか。</p>	<p>① スマートネットの活用状況を把握し、適切な使用法を指導する。</p> <p>② 研修会やセミナーを通じて、教員間の情報共有を図る。</p> <p>③ カラ級について、徹底する。</p>

	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価 基準)	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏ま えた課題・改善の方向)	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度 に向けた改善 方策)
キャリア教育	<p>1 生徒のキャリアアップに向け、自己理解・啓発を深める指導を行う。</p> <p>2 高大連携を推進し、体験を重視したキャリア教育を実践して個性が輝く進路を実現させる。</p>	<p>① 各種説明会等を通じて、高いレベルの目標設定とチャレンジ精神の涵養を図る。</p> <p>② 高大連携の推進に向けて、生徒個々の興味・関心・適性等に応じた履修指導を行うとともに、学修の拡大と人事交流などの連携を図る。</p>	<p>① ガイダンス機能を充実するための工夫・取組の状況</p> <p>② 大学体験講義の運営や参加者状況及び履修に関する担任との面談回数と保護者への説明会の状況やアンケート結果</p>	<p>① 進路説明会、キャリアセミナー等は、今年度も11回実施した。生徒の「幕総は、生徒のニーズに合った進路学習・補習が行われている」に対する肯定的評価は、昨年度は84%、今年度は83%であり、保護者の「本校は、保護者と適切に連携をとりながら、進路指導を行っている」に対する肯定的評価は、昨年度は59%、今年度は60と微増であった。教職員は「進路指導に関して、保護者や外部との適切な連携がなされている」に対する肯定的評価が昨年度の80%から90%に上昇しており、教職員の認識しているほどは、生徒・保護者が満足していないことがわかる。</p> <p>② 学外学修については、高大連携説明会を実施し、千葉大学の講座に1名、神田外語大学の講座に6名、多摩美術大学の集中講座に6名が参加した。連携している大学は十分にあるが、生徒の参加人数は増えていない。</p> <p>③ 履修に関する説明会は、保護者向けも含め5回実施するとともに、個別指導を進めた。生徒の「幕総は、生徒の進路希望にあった教科・科目が用意されている」に対する肯定的評価は変わらず91%と高くなっている。</p>	<p>① 進路説明会や、キャリアセミナー等は継続して適切に実施する。進学重視型総合学科として、進路指導の在り方を学校として再検討するとともに、指導方法の研修を全職員に実施する。</p> <p>② 千葉大学、神田外語大学、多摩美術大学との連携をきっかけとして、生徒への魅力あふれる講座をさらに提供していく。</p> <p>③ 引き続き履修に関する説明会や個別指導を二一ズに計画的に推進する。</p>	<p>① キャリア教育は大切である。職業観を醸成する意欲を高めたい。</p> <p>② 大学との連携がなかなか進まないのは、どんな理由があるのだろうか。</p> <p>③ 個別に分かりやすい指導を進めて欲しい。</p>	<p>① キャリアセミナーや外部講師の講演会を増やしていく。進路指導を全職員で共通理解の下で取り組む。</p> <p>② 大学との連携を今以上に積極的に生徒に周知する。履修を、今後個別に行っていく。</p>

	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価 基準)	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏ま えた課題・改善の方向)	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に 向けた改善方策)
特別活動	1 体力や情操を育み、よりよい人間関係の構築のため、ガイドラインに沿った部活動教育を推進する。	① 部活動等への積極的な支援と県内行事との交流を推進するとともに、学校行事の活性化を一層支援する。	① 部活動顧問の指導状況、鼎祭の開催状況、及びアンケート結果	① 今年度の部活動加入率は 88% で例年どおり高い。全国大会・関東大会に出場した部活動も 20。そのうちシンフォニックオーケストラ部は全国大会 12 年連続の 1 位を獲得した。 ② 鼎祭文化の部には、約 9,200 名の入場者があった。生徒の「幕総は、文化祭・体育祭など学校行事が楽しい」に対する肯定的評価は昨年度と同様 92% と高い。保護者の「本校の学校行事は、適切に行われている」に対する肯定的評価も昨年同様 96% である。教職員の「生徒会活動や委員会活動等の特別活動が適切に実施され、その充実に努めている」に対する肯定的評価も昨年度より若干増加し 92% と高い。	① 働き方改革を推進し、本校の実態に即した部活動ガイドラインを作成して、学習指導とのバランスを取りながら、適切な部活動指導等々の企画運営を行い、文武一道を実現する。	① 本県の部活動の時間が全国一長いとの報道もあり、知恵を絞って教員の負担軽減に努めて欲しい。 ② 鼎祭文化の部は素晴らしい。あれだけの展示や出演が見られるのは嬉しい。	① 部活動ガイドラインを作成し、効率的・効果的な部活動指導を行う。 ② 鼎祭文化の部の適切な運営を継続して行う。
特色ある教育活動	看護科・専攻科の教育 1 看護に関する基礎的・基本的な知識と技術や健康の保持増進に寄与する能力などを育成する。 2 看護師国家試験対応を充実させる。	① 面談等により、生徒一人一人の学習状況の把握に努め指導にあたる。保護者との連携を密にして生徒の指導にあたる。 ② 国家試験対策の集中補講・国家試験模擬試験等を実施し、看護師国家試験の合格 100% を目指す。	① 実習先の病院等からの評価結果 ② 看護師国家試験の結果と専攻科修了性の進路状況	① 若干のインシデント（レベル 0）は発生したが、大事には至っていない。実習先の病院や施設との密な連携を図ることで、先方からの評価は概ね良好である。 ② 昨年度の国家資格合格率は 97.4% であった。今年度の進路先は 1 名が助産師学校へ進学、また 2 名が看護師以外の進路を希望している。その他の学生は病院への入職が内定している。	① 病院側、職員、実習生との報告・連絡・相対対応を心掛ける。 ② 目的意識をもって進路実現に向かわせる。計画的な模試の実施及び結果を分析後の丁寧な指導。一人一人の適性を見極めての進路指導を行う。	① このまま続けて欲しい。 ② 看護学科の進路指導について、ミニ集会の要望等も踏まえ充実をお願いしたい。	① 病院側との連携を継続して、実習の充実度を維持する。 ② 看護師国家試験の合格 100% を実現する。